

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	心の森			
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日 ~ 令和7年10月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名 (19世帯)	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	令和7年10月1日 ~ 令和7年10月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月10日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動プログラムが固定化されないように工夫している ・子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている	・子どもの興味関心に沿った活動提供とプロジェクト活動やアトリエ活動など、子どもの主体性や対話を大切にした活動提供をする中で、豊富な経験や深い学びにつなげられている	・本人支援における支援プログラムを放課後等デイサービスガイドラインに定められている4つの基本活動に分けて見える化することで、より計画的に幅広い経験や深い学びの場が提供できるようにしていきたい
2	・日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	・記録の視点を子どもの成長という視点でもって、ドキュメンテーションという形で記録することで、子ども一人ひとりのストレングスを重視した支援につなげられている	・職員一人ひとりの気づきを職員全体の気づきとし、次の支援へとつなげていくことと、保護者・学校や他デイと共に、子どもたちに関わる人たちと共通理解を深めていきたい
3	・日頃から子どもの状態を保護者と伝え合い、子どもの発達や課題について共通理解を持っている	・送迎時の申し送りを重視していることに加え、ドキュメンテーションや個人記録、おたよりの配信、懇談会など、子どもの発達の状況や課題について話をする機会、共有する機会を豊富に設けている	・今後、保護者支援の一環として、保護者会等で、プロジェクト活動や子どもたちの成長を伝える機会を持つ中で、一緒に学びを深める機会や子どもたちの発達や成長を理解する視点を伝えるというペアレントトレーニング等の方向にもつなげていきたい

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がある	・施設内の活動が多く、地域での活動の機会が少ない	・子ども園との日常的な交流を継続していきたい ・今交流のある地域の児童館や障害福祉サービス事業所、高齢者介護施設等との交流の促進をしていきたい
2	・父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされている。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされている	・保護者、きょうだいの方へ向けたイベント開催が少ない ・保護者のニーズをお聞きする機会が少ない	・保護者の方のニーズ（内容、時間帯、開催頻度等）を調査しながら内容を充実させていきたい ・ご家族にとってもリラックスできる場所のひとつとなるような居場所づくりの支援をしていきたい
3	・事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われている	・定期的な避難訓練等の実施が年2回、引き渡し訓練の実施が年1回と回数が少なく、様々な想定（時間帯、内容、参加者）での訓練の実施ができていない	・実施回数を年2回から増やし、様々な想定の設定での実施と、より多くの利用者、職員が参加できる形での実施を検討していきたい

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名	心の森		公表日	令和7年12月20日				
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	5	0	0	(無回答) 1 ・少し手狭かなと思いますが、屋上の部屋を使ったり、工夫されていると思います ・小1～高校生と幅のある年代のこどもたちなので体格が大きくなって中学～高校生10人となると手狭かと… ・成長していくこどもたちには、少しスペースが狭くなってきたように思います	・複数の活動を興味や関心に応じて選択できるようにしたり、活動によりスペースを区切ったり、場所を変えたり、できるだけ集中して活動できるような空間に整えたりする中で、活動を十分にできる配慮を継続していきます
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	0	0	2	(無回答) 1	・職員の適切な配置の継続及び活動内容、こどもの状況により安全に活動できる配置を行います
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思います。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	3	0	0	・エレベーターありましたっけ？！	・事業所内にエレベーターを設置しています。バギー等使用のこどもたちも同じ空間で活動できることを大切にしています ・安全を最優先に、居心地の良い環境、視覚的支援等を用いた分かりやすい環境の中でそれぞれのこどもたちの自立を促せるような環境を目指します
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	0	0	1		・清潔で心地よく過ごせる生活空間確保の継続をし、感染症予防対策にも努めます ・活動に応じて存分に活動に取り組める空間の確保、落ち着いて過ごせるスペースの確保、こどもの動きや特性に配慮した上で安全に過ごせる空間の確保を随時検討していきます
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1	0	0		・フォーマルアセスメントを通してこどもの全体像を、日々のインフォーマルアセスメントを通して場面ごとのこどもの姿への理解を深め、職員間で共通理解を持ち、一人ひとりの強みを引き出せるような支援をしていきます
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	1		・定期的な支援プログラムの見直しを行うとともに実際に提供している支援内容と相違がないかということも含め、事業所全体で確認する機会を作っています
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	0	0	0		・インフォーマルアセスメントを日々の関わりの中で行い、課題分析を実施します ・個別支援計画作成時には、保護者と面談を実施し、ニーズや課題について共通理解が持てるよう努めています
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	0	0	0		・目標設定時にはこどもたちの強みを最大限生かせることを意識します ・スマールステップによる目標達成のイメージをしっかりと持てるような具体的な支援内容を記載します
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	1		・個別支援計画に内容を全職員で周知し、計画に沿った具体的な支援を共通して行えるようにします
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1	0	1		・こどもたちの姿を明確に捉え、興味・関心に応じた活動計画を行います ・活動プログラムや支援プログラムを4つの基本活動に分けて見える化することで、より計画的に実施していきます

	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	2	0	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内の交流はよくされていると思います</li> <li>・ただし多いように思っていて…保育士代わりというかお世話をさせられているかな?って思う時があります!交流のやり方を覚える方がいいのかな?!(無理やりはないようですが…ちょっと…)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご心配をおかけし、申し訳ございません。心の森では、様々な人の関わりが「多様性を尊重し、理解し合える社会へと繋がる」と考え、多様な関わりからの学びを重要視し、日々支援を行っています。日々のこども園等との関わりにおいては、「交流すること」自体が目的となるないよう、こどもたちが様々な人と共に過ごす中で感じ合う思いを尊重するため、交流という形での環境設定を行っています。今後も併設している認定こども園との日常的な交流の機会の提供や児童館との交流等を計画的に行い、多様な関わり、豊富な経験ができるようになります。また、多様な関わりの中でのこどもたちの成長を保護者の皆様と共有していきます</li> <li>・法人として取り組んでいる「幼老障の共生」の意義について保護者の皆様にお伝えする機会を作ります</li> </ul>
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時のみでなく、報酬改定時や支援内容の変更があった際などに文書を用いて説明を行います</li> <li>・支援内容について、個別にお迎えの際に口頭で伝えたり、連絡帳に記載したり、ドキュメンテーションの作成をし、保護者の皆様にお伝えします</li> </ul>
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすい言葉で個別支援計画書を作成します</li> <li>・個別支援計画書を示しながら、目標の設定理由、具体的な内容を説明する中で共通理解が持てるようにします。また、希望やこどもの状況によって計画がいつでも変更できることも併せてお伝えします</li> </ul>
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	1	0	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の関わりの中で、お困りごと等への助言を行います</li> <li>・保護者の皆様のペアレント・トレーニング等のニーズの把握に努め、実施に向けて検討します</li> <li>・保護者向けの研修等の案内を情報提供として共有します</li> </ul>
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16	0	0	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭での様子をお聞きしたり、利用時の様子を伝えたりする中で、現状の把握や「こういうところを伸ばしていこう」という共通理解ができているか、都度保護者の皆様と確認します</li> </ul>
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	0	0	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリング時期に合わせて年2回の面談を実施します</li> <li>・個別面談の機会等を利用し、子育ての悩み等を定期的にお聞きさせていただく機会を設けます</li> </ul>
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・当法人の教育・保育の特色として、こどもも保護者もまざりまとこと受け入れる」を基本姿勢としています。受容され、信頼されることにより、人への基本的信頼感が培われることへの理解を深め、共感的な支援を心がけます</li> </ul>
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	4	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きょうだいの交流、出来たらいいなあと思います</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育参加やイベント等保護者同士、きょうだい同士の交流の機会を作っています</li> <li>・また、こどもたちや保護者の皆様に将来をイメージしていただけるような活動の提供や様々な人のつながりを作る、居場所としてのつながりを継続する活動の提供を行っていきます</li> </ul>

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	1	0	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情に対する対応体制、対応手順等を整えていることを周知する機会を作ります</li> <li>・苦情を受けた際は、迅速に対応手順に沿って対応します</li> <li>・保護者の同意を得て、全利用者に内容と対応について共有します</li> </ul>
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1	0	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別に意思の疎通方法を検討します</li> <li>・利用時の様子や普段と違うこと、気になること等を漏れなく、保護者に伝達します</li> </ul>
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	0	0	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月のおたより、ドキュメンテーションにより発信します</li> <li>・自己評価結果について、説明する機会を設け、内容についても全利用者に配布します</li> </ul>
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の取扱い方針に沿って対応します</li> <li>・定期的に事業所内で研修の機会を設け、個人情報の取扱いについて確認するとともに重要性を啓発していきます</li> </ul>
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	0	0	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種マニュアルの定期的な見直しとマニュアルに沿った対応の徹底をします</li> <li>・改めて保護者の皆様に周知する機会を設けます</li> </ul>
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1	0	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的に訓練を実施し、振り返りを行い、非常災害時に備えます</li> <li>・訓練実施後には、保護者の皆様にも共有いたします</li> </ul>
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1	0	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全計画の定期的な見直しや更新及び計画に沿った事業運営が行われているかの自己点検を行っています。また、保護者の皆様にも安全確保の取り組みについて、共有する機会を設けます</li> </ul>
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	0	0	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故等（怪我等）の発生があれば、その大小に関わらず、速やかに連絡や事故発生時の状況等について、保護者にご説明させていただきます。また、全体で共有すべきことにつきましては、保護者の許可を得て全利用者に報告、共有をし、再発防止策についても併せて報告をいたします</li> </ul>
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・憩いの場所の一つになっています</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温かいお言葉をありがとうございます。安心安全に通所できる事業所の継続を目指します。その中で、こどもたちにとっても「自分を理解してもらえる」「自分らしさを発揮できる」自分の居場所という安心感を持ちながら過ごせるように、どんな場面においてもこどもたちを見守り、受け入れられるよう努力していきます</li> </ul>
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	0	0	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもたちが自ら感じ、考え、行動することを大切に見守り、学びや成長を支えていきます。また、安心して過ごせる場、思いを出せる場という側面も大切に受容的な関わり、環境を継続して作っていきます</li> </ul>
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・忘れがちな親のフォローもしてくださりありがとうございます</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温かいお言葉をありがとうございます。今後もこどもたち、保護者の皆様にとってなくてはならない存在になれるよう質の向上を目指して職員一同取り組んでいきます</li> </ul>

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	心の森				公表日	令和7年12月20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境 ・ 体 制 整 備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもたちの様子に合わせて3階テラスや2階、1階の使用も行っている</li> <li>・設置基準上満たしているが、こどもの状況により十分ではない面もあるため、プレイルーム、アトリエ、園庭、屋上広場等を活用し、こどもの興味や気分的な状況等により活動場所を分け、安全に活動できる環境づくりをしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年の大きい子や肢体不自由児の子が多い日はスペース的にゆとりがないように感じるので、環境構成、活動面にて工夫をしていきたい</li> </ul>	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員が制度上の運営基準等への理解が深まるよう、制度上定められている職員の配置基準等について、ガイドラインをもとに職員全体で確認を実施している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人数が定員MAXの時に1対1になってしまふと他のこどもたちに行き届かなくなると思う</li> <li>・配置基準上は問題がないようにしているが、日によっては職員数が少ない日もあり、こどもたち一人ひとりの状況に応じた手厚い支援という面では日によって差があるように感じるため、どこにどれくらいの配置が必要であるかの洗い出しを行っていきたい</li> <li>・保育士、運転業務職員等、今後も必要に応じて新規採用を行う等、適切な人員体制で業務が進められるようにしていきたい</li> </ul>	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今ある環境をうまく使っている</li> <li>・設備面においては、エレベーターの設置や段差の解消など、バリアフリー化がなされている</li> <li>・おもちゃ、本などは別々にあり、分かりやすい</li> <li>・写真等が貼ってあり、視覚でもわかりやすくなっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・靴箱は扉を外し、利用しやすいようにした方がよい</li> <li>・出入口に屋根がなく雨天時の入りには濡れてしまうので改善する必要がある</li> <li>・レゴやゲームなどは高いところにあり取りづらい、こどもたちが取るには危ない</li> <li>・活動と場所が固定されていないので分かりにくい、言葉での説明が多い、全体が見渡せる環境であるため様々なものが目に入り気になる環境であるかもしれない等、こどもたちにとって分かりやすく、自分で活動できる環境となっているかはその都度確認をしていきたい</li> </ul>	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帰ってきたらすぐに手洗いする、声掛けをする</li> <li>・日々の清掃、消毒、ジアイーノの設置等により清潔で心地よく過ごせる環境維持を心掛けている</li> <li>・感染症発生時などは、消毒等徹底するなど状況に応じて対応をしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備面で破損や変更が必要なことはないか等も定期的に職員間で確認をし、対応していく仕組み作りをしていきたい</li> </ul>	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもたちの気分や様子に応じて臨機応変に対応し、部屋の移動や落ち着くことができる場所作りができている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題に集中できる環境、空間（遊ぶ部屋と集中する部屋）をすぐに状況に応じて分けられるようにしたい</li> <li>・継続してその時々の状況に合わせて環境作りをしていきたい</li> </ul>	
業務 改 善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その日にできなくてもその週の中で職員同士で共有する場がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の職員が主になつて進めているので、業務改善における目標設定や振り返りに職員全体で検討できる場、時間を設け、全体で取り組めるようにしていきたい</li> </ul>	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回依頼している保護者向け評価表を保護者等の意向等を把握する貴重な機会と捉え、業務改善策の検討や年間行事や年間業務への反映をしている（R7は、10月1日～10月31日に実施）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所全体での取り組みとして、職員全体で周知、意見交換をし、改善計画作成等一連の流れにおいて職員全体で関わっていきたい</li> </ul>	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見や相談をして新たな支援方法を学ぶ機会がある</li> <li>・定例会議等で意見交換をし、業務改善につなげられている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会議以外に日々のミーティング等でも機会を作ることで、気軽に意見を言えるような職場の雰囲気作りを行っていきたい</li> </ul>	

普	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子dayのアンケート結果が励みとなり、課題の部分も話し合うことができている</li> <li>・法人内で他施設の職員による評価を実施するなどし、結果を業務改善につなげている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価結果及び業務改善内容を事業所内で留めず、保護者の方へフィードバックしていきたい</li> </ul>
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議の時に研修する機会があり助かります</li> <li>・研修に参加した内容を会議で報告し、職員全体で学ぶ機会がある</li> <li>・法人内委員会による法人内研修や外部の研修の受講機会を設けたり、事業所内においても計画的に研修を企画・実施している</li> <li>・研修を通して必要な視点を再確認できている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の研修計画を立て必要な時期に必要な学びが得られるように、事業所内研修をさらに充実させていきたい</li> </ul>
個	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPでも確認ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方にとってもわかりやすい支援プログラムの見える化の検討、作成、公表（説明会）をしていきたい</li> </ul>
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員同士で話し合い、こどもたちの成長や未来をイメージした内容も計画に入れている</li> <li>・日々のこどもたち、保護者の方との関わりによるインフォーマルアセスメントを重視し、ニーズや課題分析を行うようしている</li> <li>・日々の保護者との交流の中でこどもの状況や対応の仕方を知ることができ、計画も分かりやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもに関わる全ての職員で計画作成に携わっていく中で、より多面的に支援を検討するようにしていきたい</li> </ul>
個	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケース会議にて子どもの支援に関わる職員全体で子どもの状況把握を行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケース会議では、子どもの状況の把握を全体で行い、児童発達支援管理責任者の見立てにより計画作成をしているので、今後継続可能なケース会議の持ち方を検討し、全職員の意見が反映される、共通理解が持てるような計画作成に向けて、ケース会議の充実を目指していきたい</li> </ul>
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画書の読み合わせを職員間で行うことで、こどもたちの課題となる部分を職員間で周知し、意識して支援を行えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共有していくような仕組みづくりをしているが、職員個人任せではなく、さらに共有しやすい方法の検討が必要。また、計画に沿った支援を実施するために個別支援計画に加えてさらに詳細化した支援手順書の導入も検討していきたい</li> </ul>
個	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人記録で日々のこどもたちの行動を共有している</li> <li>・ドキュメンテーションや連絡帳システム、送迎時の保護者との交流・情報交換を通して確認することができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフォーマルアセスメントにて得意なこと、苦手なことは日々の生活で理解ができる、フォーマルアセスメントにおける情報把握も支援の土台として職員間で共有できるような仕組み作りをしていきたい</li> <li>・今後、氷山モデル等に沿ってこどもたちの状況をこまかく分析し、よりこどもたちの行動について全職員で共通理解を深めていきたい</li> </ul>
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの項目ごとに分かりやすく設定されており、個々に応じた支援内容が示されているため、こども一人ひとりの対応や関わり方を再確認することができる</li> <li>・本人の目標、家族の目標等も細かく設定しており、支援内容も大きなねらいと短期目標もあり、成長までの支援を分かりやすく示している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者にとってももちろんのこと、支援者がより共通理解を持って日々支援できるようさらに具体化されたものとしていきたい。必要に応じて支援手順書の作成もしていくなかで具体的に支援を行っていきたい</li> </ul>
個	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容を共有し、ねらいを定めた上で立案している</li> <li>・webやポートフォリオ（見える化）を行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームでできると良いと思うがそこまでは至っていない</li> <li>・こどもたちの興味・関心、学びなどを全職員で共有していく中で、活動プログラムの立案についてもチームアプローチに繋げていきたい</li> </ul>

適切な支援の提供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素材に対してこどもたちがどう向き合うのかを観察した上でプログラムを作成している</li> <li>・こどもたちの興味・関心に沿って、主体的、対話的な学びができるようプロジェクト活動を展開している</li> <li>・こどもたちの興味や関心に沿って自分で活動を選べるような環境設定をしていることで、活動において様々な経験へと繋がっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもたちの興味・関心に沿ってプロジェクト活動を進めているので様々な活動からの学びがあると思うが、環境や職員からの問いかけ、友だちと気づきを共有することなどから、さらに次の展開へと充実を図れるよう、活動の振り返りを行い、次の展開へと繋げていける仕組み作りをしていきたい</li> </ul>
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人で集中することを楽しむ場面、こどもたち皆で共有することを楽しむ場面、どの場面でこどもたちが有意義に過ごせるかを考慮しながら行われている</li> <li>・一人ひとりの育ちを大切にしながら「振り返り」を集団活動として位置付け、様々な人の思いや考えにふれられる機会を作っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別活動がほとんどで集団活動はあまりできていない</li> <li>・一人ひとりの状況、課題により他者との関わりの中での育ちを意識し、集団の中の個別を大切にしていることを、支援プログラムの整理をする中で見える化していきたい</li> </ul>
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳システム、会議録の活用により家庭からの連絡やこどもたちの体調等の把握、当日の送迎や業務分担について確認を行うようしている</li> <li>・支援計画の共有を行い、不明点があれば話し合いを行う等、認識の統一を行い連携を強めている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・打合せを毎日するのではなく、必要に応じて共有している印象、ドキュメンテーションを通して振り返りを行なう</li> <li>・当日に打合せを行うので少し不安が残る、個別で打合せをするので合っているか分からなくなる時がある</li> <li>・支援前に会議を行い、本日のねらいや目標、前回あったことの報告の場があると職員の話し合う時間を増え、よりよい支援につながると考えるので、支援開始前に短時間のミーティングを職員全體で取り入れていきたい</li> </ul>
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終了後にこどもたちの反応や段取りの話をしている</li> <li>・毎日の帰りの会でこどもたち、職員全体で振り返りの時間を持つことで、こどもたちの思いや成長を感じた部分などを共有する機会となっている</li> <li>・こどもたちの成長や様子を見て目標設定が必要な場面は記録をとり、次回につなげられるようにしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議録の確認により共有できるようにしているがタイムラグがあったり、共有できていないこともあるので、方法を検討していきたい</li> </ul>
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドキュメンテーションや個人記録にて、こどもたち一人ひとりの成長という視点での記録を日々とており、ストレングスを重視した支援へと生かしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、職員全體で日々の気づきを共有する方法、効率的な記録についても検討し、様々な視点でのこどもの成長を捉えていきたい</li> </ul>
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリングによりこどもの状況を把握して保護者の方と共有すること、年2回は保護者の方と懇談の機会を持ち、成長の共有と意向の確認を行い、個別支援計画の見直しを行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリングの根拠となる日々のインフォーマルアクセスメントを重視し、記録、見える化していきたい</li> </ul>
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト活動を通して行なうことができる。地域との関わりについては、長期休暇に行なうことができ、こどもたちにとっても身近な存在となっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後支援プログラムをガイドラインの4つの基本活動に分けて見える化することで計画的に実施できる仕組みを作っていくたい</li> </ul>
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動はこどもの興味によって選択できるようしている。日々の生活場面においてもこどもに意思を確認したり、選択できるような仕組みを作ったりし、自己決定力を育てるようしている</li> <li>・素材の向き合い方を観察し、こどもたちの興味に沿って活動を展開している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉での意思表示以外にもそれとのこどもたちの表情、しぐさ、ジェスチャー等の意思を大切に受け止めること、事業所全体でその意識を作っていくこと、また意思表示を助長するような支援を検討していきたい</li> </ul>
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス担当者会議においては、デイで把握している子どもの状況を明確に伝えるようしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援を利用されていないこどもも多く、事業所間連携の必要性を感じるので、保護者の方にも制度や目的を伝え、推進していくたい</li> </ul>

関係機関や保護者との連携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	・子どもの所属する学校と日常的に情報共有する中で、連携できる体制を作れるようにしている	・していると思うがよく分からない ・こどもたちの医療情報についての把握があまりできていないため、把握に向けて聞き取りを行いたい ・他デイを利用しているこどもも多いため、今後事業所間連携を進め、支援の充実をはかりたい
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・送迎の際に丁寧な伝達があることや困りごとを共有する機会がある	・今後連携をさらに充実するために保護者の意向を確認した上で、個別支援計画の共有や事業所への見学招待等を行い、連携を深めていきたい ・送迎時に話したりもしているがもう少し話せて共有ができたらしいなと思う
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	(無回答) 1 ・主に保護者を通して（もしくは保護者の同意を得て）、就学前の状況について情報共有の機会を設けている	・継続して支援者間で情報共有と相互理解に努めていく
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	(無回答) 1 ・移行先の生活介護事業所に、放課後等デイでの個別支援計画書や支援記録を保護者の方を介して提供していただいている。また、持病についての事業所での対応について、申し送りの機会を設けている	・移行前だけでなく、その後の支援における困りごと等あれば、情報提供ができるような仕組み作りをしていきたい
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパー・バーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	(無回答) 1 ・のばら学園主催の保育見学や研修に参加をしたり、事業所交流会に参加をし、連携の強化に向けて取り組んでいる	・継続して研修参加等を行っていく
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	(無回答) 1 ・同敷地内に認定こども園があり、日常的な交流ができている	・こども園のこどもたちとの交流はあるが地域のこどもたちと交流する機会が少ない ・児童館との交流など、同年齢のこどもたちとの交流を今後進めていきたい
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	・2か月に1回開催のこども部会への参加、研修への参加等をし、横のつながりも深められるよう取り組んでいる	・継続して協議会への参加をし、横のつながりを深めていきたい
	34 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・送迎時にこどもたちの様子や成長を伝えられるようにしている他、ドキュメンテーションや個人記録の配信、おたより、懇談会等を通して伝えられるように取り組んでいる	・ドキュメンテーションや個人記録の活用を行う中で、日々の小さな成長をその都度共有することを積み重ねていきたい
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	・保護者の方にプロジェクト活動やこどもたちの成長を報告する中で、一緒に学びを深める機会が家族支援の一つになると考える	・今後保護者の方のニーズも確認しながら情報提供をしたり、家族支援プログラムの実現に向けて取り組んでいきたい
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・利用開始時に時間を作って説明をしている	・分かりやすい書面作成、丁寧な説明を利用開始時、内容変更時など、必要時に継続して行っていく
支援の実施	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・個別懇談会にて、こどもや家族の意向を確認し、現在の課題や困りごとだけでなく、今後どんな生活を送りたいか、どんなことができるようになったらいいか、どういうところを伸ばしたいか等を確認するようにしている	・継続して行っていく
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・書面で示して同意を得ている ・個別に時間を設けて説明されており、保護者の納得のいく形で計画が立てられている	・原案としてお渡しし、意向確認をとるようにしているが変更点や重点的に取り組みたい点をわかりやすく伝える方法を検討していく
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・送迎時に話し合うことや相談を受け、その都度対応している	・個別支援計画にも明記はしているが、保護者の方からのご相談や気になる様子があれば、面談の機会を持ったり、情報提供や他機関の紹介など必要に応じて対応していく

保護者への説明等	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	・親子デイを行い、保護者の方だけでなく、きょうだいも参加している方が多く、保護者同士の交流や活動を行うことができた ・きょうだい同士はなかなか難しいがままで保護者同士が交流する機会を設けている ・もう少し現場を見てみたい	・年に数回実施しているが参加される方が少ないように感じる ・子どもの年齢幅が広く、必要な支援も大きく違うので、状況の近い子どもの保護者間で交流できるような機会も作っていきたい ・保護者のニーズも確認しながら、保護者同士の交流の視点を大切に、様々な形で機会を作っていきたい
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・重要事項説明書にて、苦情受付対応窓口の記載と説明を行っている ・苦情があった際は職員で話し合うことや改善方法を考えて対応できている ・全職員に共有できるシステムがある	・苦情には迅速に対応し、保護者に示しているが、苦情対応の体制について周知する機会を設けたい
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・インスタグラムや毎月のおたよりでこどもたちの活動を発信している	・発信だけに終わらず共通理解が得られるかなども確認したり、見ていただきやすい内容や得たい情報となっているか検討をしたりしていきたい
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・施設の掲示物の個人情報の取扱いや保護者の方への申し送りの際にも留意している	・年度ごとに保護者に意向確認をすることを継続していく ・職員研修等で定期的に個人情報の取扱いを確認、自己チェックを行う機会を設けたり、個人情報の取扱いの重要性を啓発をしたりしていきたい
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・送迎の際等、日々の情報共有を心掛けていき、保護者の方と連携がとれるよう配慮している	・継続して最適な方法を検討していく
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	・地域行事に招待していただいた際に、こどもたちと共に参加をする機会を作っており、またその際に見られたこどもたちの姿や学びについて振り返り、共有するなどし、地域との関わりを深められるよう努めている	・地域との関わりを深めることを目的に、地域への理解を深めたり、小さな関わりを継続したりしていく中で、プロジェクト活動として継続的に、広げていきたい
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	3	(無回答) 1 ・マニュアルの策定をし、訓練にて救急要請やAED使用、心肺蘇生などの内容を行っている	・マニュアルや対応を保護者の方に共有する機会として、定期的に事業所での対応を発信したり、保護者会等で活動内容について説明する機会を作っていきたい
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	・夏休み、冬休み等、長期休暇の際に避難訓練や防犯訓練にこどもたちも参加をし、実施している	・マニュアル等確認できていない ・継続して実施していく ・実施時の様子や課題の発信をしたり、保護者の方にも参加していただけるような機会を作ったりしていきたい ・まだ経験したことのないこどもや職員がいるのではないか ・様々な時間帯、想定を行い、さらに具体的に訓練する必要性を感じる
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・服薬やてんかん発作等、職員で共有し、発作の見守りも対応できている	・アセスメントシートの様式見直しを行い、必要な情報を誰が対応しても取れるような仕組み作りをしていきたい
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・個々に合わせた食事の対応ができている	・必要に応じて施設内研修等を実施し、職員の対応力を向上していきたい
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・危険な場所やこどもたちの好きなもの（石鹼・液体）などを職員全体で確認、周知し、注意することができている	・安全計画の周知や定期的な研修や訓練を実施していきたい
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・けががあったときの安全面の見直しや安全を配慮した上で対応を伝えることができている	・非常災害時の引き渡し等についてご家族様にもご協力をいただき、定期的な訓練を継続していきたい
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・ヒヤリハット事例を記録している ・全職員が確認できるように共有されており、ヒヤリハットについて意識が高まっている	・ヒヤリハットの日々の共有から職員全体で意識を高めるほか、記録からの集計をとり、分析し、事故防止に努める流れを作っていきたい

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止研修においては、不適切なケアから事前に虐待の芽を摘むことを重視し、スピーチロック等への意識を高め、子どもたちへの言葉掛けを見直ししている</li> <li>・虐待防止委員会で毎月検討した内容を、事業所内でも周知することで意識の向上に努めている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の支援を振り返る中で、自分たちの支援について日常的に考えられる職場風土を継続して作っていきたい</li> </ul>
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議で話し合うことや一人で対応するのではなく職員全体で助け合い、対応していく安心感もある。身体拘束の可能性が高くなる子どもについても保護者の方と相談や話し合いがでできている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束等適正化についての研修の継続により理解を深めることと、身体拘束をしない環境作りや他に方法を検討できるような支援現場を作っていきたい</li> </ul>